

通級だより

静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2025年9月号 編集杉山



各学年の授業の様子

通級指導教室では、各学年の児童生徒の発達に応じて、聴能指導、言語指導、適応指導などのきめ細かい指導を行っています。今回の通級だよりでは、小学校低学年、中学年、高学年、中学生のそれぞれの授業の様子を紹介します。

小学生の指導

低学年(1年生)



ひらがなを
大人と児童の
ながく
なごむ
の
こわ
れ
る
げん
いん
に
な
る
も
の



みず

ぼこい

小学校低学年は、補聴機器を大切に扱うことについて学んでいます。また、3ヒントクイズや誰が何をしたゲームなど、遊びを通して言語表現の幅を広げる学習にも取り組んでいます。
(久永)

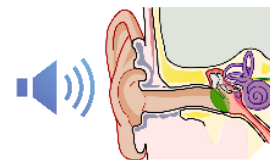
中学年(3年生)

補聴器の仕組みは～



中学年になり、自分の聴力や補聴器の仕組み、手入れの仕方の学習が始まりました。難聴理解授業で友達の前で発表することができました。
(杉山)

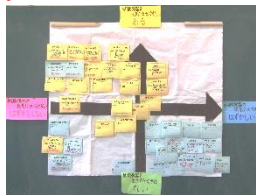
高学年(5年生)



高学年は、難聴について伝えたい相手、内容、方法を自分で考えながら難聴理解授業の計画を立てて、準備に取り組んでいます。準備を進める中で、改めて自分の聞こえについて確認したり、調べたりして、自己理解を深める時間にもなっています。
(芦澤)

中学生の指導

1年生



中学生は、自分の聞こえ方の特徴や必要な配慮・支援について、理解を深めたり発信したりする学習に取り組んでいます。友達と一緒に、聞こえにくい場面や必要な配慮についてグラフに整理することで、個によって必要な配慮には違いがあることを知ることができました。自分にとって必要な配慮を周囲の人に伝えたり自分で工夫して情報を得たりすることが出来るようになってきました。
(田辺)

2学期の行事予定

10月18日(土) 第2回通級生の集い

今回は、『本校生や通級生との交流』『調理』『先輩の話を聞く会』等、楽しい活動を予定しています。ぜひ御参加ください。



